

高大連携充実に期待 潮来高で学校運営協議会



学校運営について説明する潮来高の高野光章校長＝潮来市須賀

コミュニティ・スクール制度(学校運営協議会制度)を導入している県立潮来高校(潮来市須賀、高野光章校長)は24日、本年度最初の協議会を開き、委員に学校運営の方針や目標などを示し、承認された。

同制度は、学校や地域住民、保護者、有識者らの意見を学校運営に反映させ「地域とともにある学校づくり」を進めるもの。同校は2022年度から導入している。

協議会の冒頭で、本年度の委員10人に任命書を手渡した。会議では高野校長が、目指す学校像について「人間性豊かな『自立した生徒・自走できる生徒』の育成」を掲げ、重点目標として「基礎学力の定着」や

「社会を意識したキャリア教育の推進」、「豊かな人間性の育成」など7項目を挙げた。

教務部、進路指導部、生徒支援部の担当教員は、学校の現状や目標が説明。委員からは、生徒が校外体験をする「ラーケーション」制度の活用状況や、昨年度の進路実績などについて質問が出た。また、生徒が近隣大学などと連携し、地元産食材を使った弁当の開発を実現させた高大連携事業について、さらなる充実に期待する意見を寄せた。

高野校長は「生徒たちが自信を持って未来へ駆け出していけるよう、皆さんからの助言を学校経営に生かしていきたい」と語った。

(藤崎徹)